

IV 熊本地震からの復旧復興

めざすまちの姿を実現するため、市民力・地域力・行政力を結集し、熊本地震からの復旧復興に最優先に取り組みます。

- 1 被災者の生活再建に向けたトータルケア
- 2 防災・減災のまちづくり
- 3 熊本地震の記録と記憶の伝承

1 被災者の生活再建に向けたトータルケア

被災者が安心して自立的な暮らしを送ることができるよう生活再建に向けた総合的な支援に取り組みます。

ア 切れ目のない生活再建・健康支援

恒久住宅の確保に向けた支援、再建後の孤立や健康悪化を防止するための見守りやコミュニティ形成支援、生活困窮者への支援 など

イ 宅地復旧及び耐震化支援

液状化などの被災宅地への復旧支援、防災がけ崩れ対策、宅地耐震化（宅地液状化防止など）の推進、被災分譲マンションの建替・解体支援 など

ウ 心のケア

心の健康の確保に向けた一人ひとりの状況に合わせた支援、カウンセリングが必要な児童生徒へのケア など

2 防災・減災のまちづくり

熊本地震の経験と教訓をいかし、ハード・ソフト両面から市民・地域・行政の災害対応力の更なる向上に取り組み、災害に強いまちづくりを推進します。

ア 災害に強い都市基盤の形成

上下水道・電力などライフラインの強靱化、道路・橋梁・公共施設などインフラの耐震化、公共交通ネットワークの構築と移動手段の多重化 など

イ 市民・地域・行政の災害対応力の強化

備蓄の勧奨、校区防災連絡会・避難所運営委員会の設立・運営支援、地域防災リーダーの育成、民間企業との災害時応援協定の拡充、震災対処実動訓練の推進 など

ウ 避難環境の強化

福祉避難所の拡充、要配慮者の視点にたった避難所環境の向上、応急給水体制の強化、災害用マンホールトイレの設置 など

3 熊本地震の記録と記憶の伝承

熊本地震の記憶の風化を防ぎ、次世代へ経験と教訓を伝承するとともに、防災・減災に関する知見を広く国内外へ発信します。

ア 防災教育の推進

小中学校における防災教育副読本の活用などによる発達段階に応じた防災教育の充実、大規模地震を想定した避難訓練の実施 など

イ 震災に関する記録の保存と活用

震災記録誌や復興手記集の活用、震災関連文書の保存 など

ウ 国内外への発信

国際会議や研修会での教訓や知見の発信、被災地への災害支援、熊本城の復旧過程の段階的公開 など